

設計DXを支える基盤

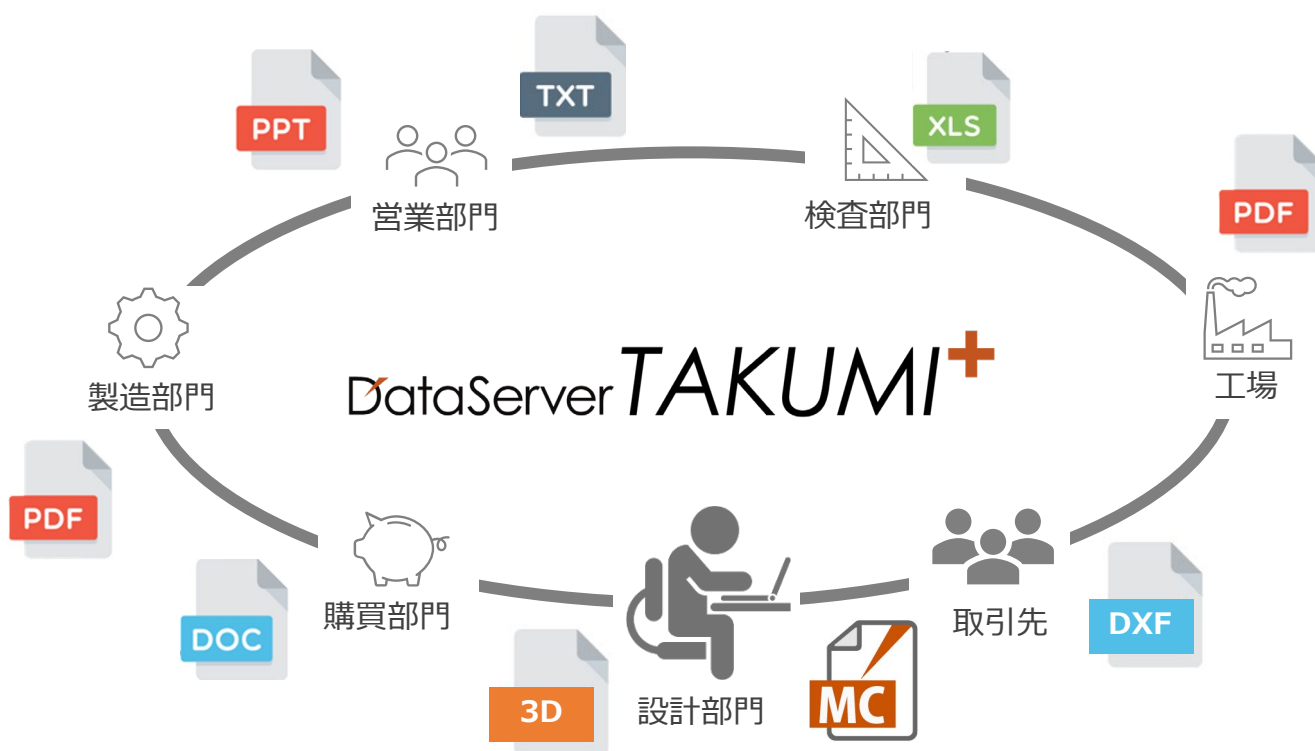
TAKUMI⁺ DataServer

for MICRO CADAM / SOLIDWORKS® / CATIA® / DXF・DWG

部門を超えて散らばるデータを、使える資産に。

“匠の技術を巧みに活かす”

“DataServer TAKUMI+”（略称：TAKUMI⁺）は、「図面」「CADモデル」「技術文書」を一元管理し、効率的なデータ共有・高速検索・流用設計を実現する設計DX基盤です。設計業務の改善や技術伝承を支援し、蓄積された情報を“価値ある資産”として活用できる環境を提供します。



「個人設計」から「チーム設計」へ

CADデータやDXFをはじめとした設計データを一元管理、複数人によるデータの共同活用を可能にします。最新版のデータを確実に共有できるため、手戻りや重複作業を防ぎ、効率的で精度の高いチーム設計を実現します。

対応CADデータ：DXF/DWG、SOLIDWORKS、CATIA V5、MICRO CADAM

「すぐ使える」「ずっと使える」シンプルさ

必要な機能に絞ったシンプルな画面により、直感的に使える操作性を実現しています。導入時の負担を抑えながら、運用も容易なため、現場に定着しやすく、スムーズな立ち上げと継続運用が可能です。

「探す時間」を「価値を生む時間」へ

図面だけでなく、仕様書・手順書・技術資料などあらゆる文書が横断的に検索可能です。部門や拠点を越えて必要な情報にすばやくアクセスできるため、ナレッジの共有とコラボレーションを促進します。

チーム設計

TAKUMI⁺では、設計に関するデータを効率的に一元管理するためのさまざまな機能が標準で搭載されています。



設計データの共有とチーム設計を支援する機能

排他制御

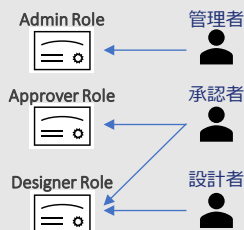
編集したい図面をチェックアウト（ロック）し、他の設計者との作業重複を防止します。



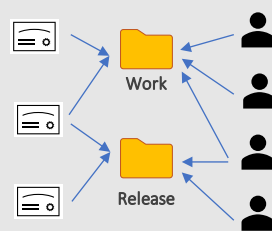
大切な資産を守るセキュリティ機能

セキュリティ機能

ロールによる
実行コマンド制御



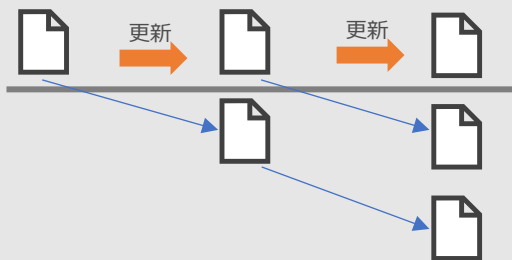
フォルダに対しユーザーまたは
ロールごとのアクセス権限設定



設計段階に対応したファイル管理機能

仕掛データの自動バックアップ

仕掛中のデータは更新のたびにバックアップファイルを作成します。ファイル名等による作業進捗管理は不要です。



リビジョン機能（バージョン管理）

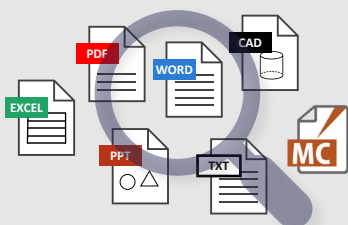
仕様確定した際はリビジョン確定をすることで対象ファイル（構成）を編集不可にすることができます。設計変更が生じた際はリビジョンアップをすることで第2版といった形でバージョン管理が可能です。



高度な検索機能

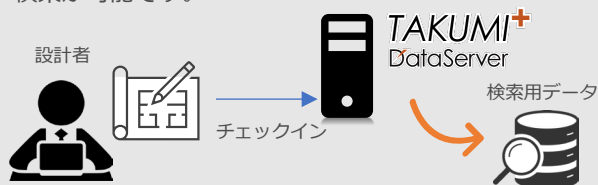
全文検索で目的の文書を素早く探索

図面や3Dモデル管理にとどまらず、文書管理システムとして、WordやExcelなどの技術文書や、PDF化された図面内文字情報の検索が可能です。



検索用データを自動作成

検索用データは**TAKUMI⁺**に図面登録（チェックイン）するタイミングで自動作成/更新されるため、設計者/管理者の運用負担は発生せず、いつでも最新の状態で検索が可能です。



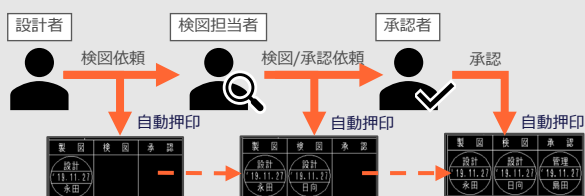
TAKUMI⁺ は、DXF/DWGデータやMICRO CADAM図面はもちろん、CATIA、SOLIDWORKSなど、3Dモデルも含めたマルチCAD管理環境を構築できます。

MICRO CADAM インターフェース

TAKUMI⁺ では、MICRO CADAM図面の効率利用に特化した自動押印付き承認ワークフローや自動PDF化による正式図保管/配布機能なども備えており、ペーパーレスな運用が可能です。また、**TAKUMI⁺** 上からMICRO CADAMの図面出力ができるため、MICRO CADAMや統合データ管理へ切り替えることなく出力処理をシームレスに実現できます。

自動押印付き承認ワークフロー

承認ワークフローにあわせて、検図印や承認印を図面内に直接押印し、ペーパーレスでの電子承認を実現します。



押印位置や押印サイズ、記入される部門名や担当者名等、お客様ごとに設定が可能

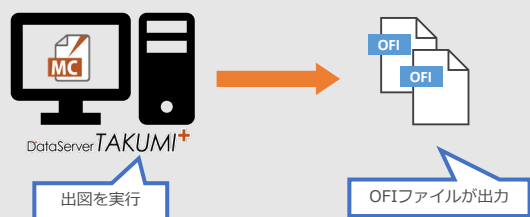
MC図面表題欄/部品欄 自動連携

図面内の表題欄/部品欄に記入された注記情報（品番/品名等）を自動取り込み、一覧表示や品番/品名を使っての効率的な検索を実現します。



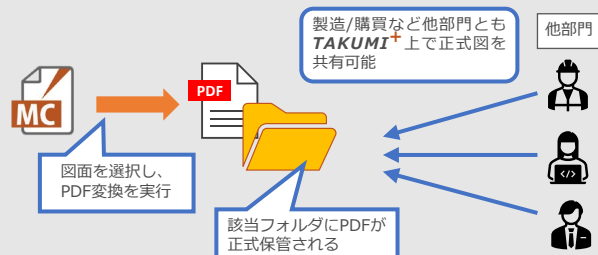
出図処理機能

TAKUMI⁺ 上のメニューから直接MC図面を出力できます。MICRO CADAMや統合データ管理へ切り替えることなく出力処理が可能です。



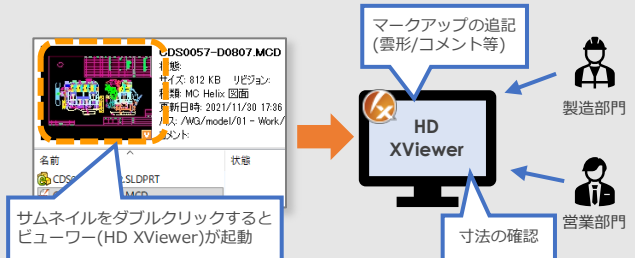
正式図保管/配布 (PDF変換)

MC図面をPDF形式に変換し、PDF形式での正式図保管や他部門への図面正式配布等をペーパーレスで実施できます。



仕掛中図面チェック (ビューワー連携)

ビューワーを起動することにより、検図の際の寸法確認や設計部門以外のメンバーと仕掛中図面を共有できます。

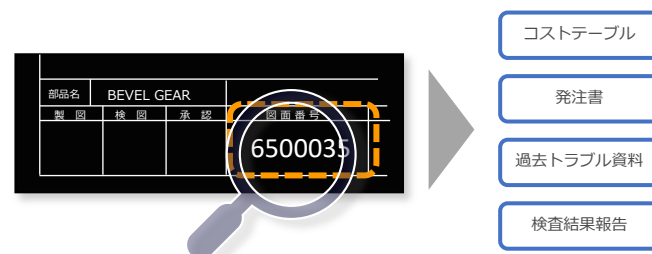


※HD XViewerの利用にはMCHSのオプション契約が必要です

利用例：

全文検索機能による図面/モデルと技術文書の紐づけ！

図面内の情報（例：図面番号）をもとにコストテーブル、過去トラブル資料など関連する技術情報の検索が可能です。**TAKUMI⁺** 上で、部門を超えた技術情報共有を実現します。

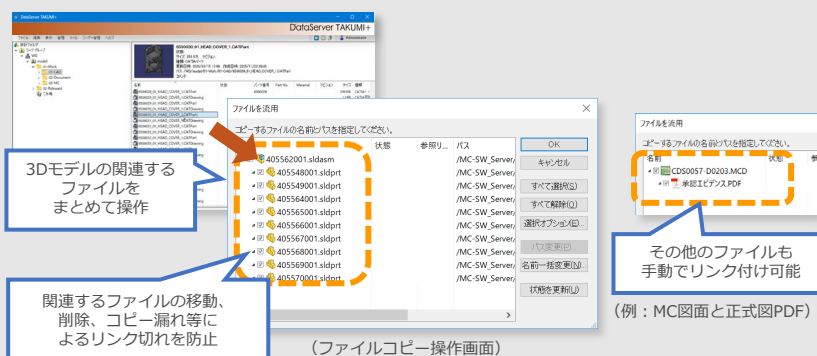


SOLIDWORKS インターフェース CATIA インターフェース

TAKUMI⁺ で、3Dモデルのアセンブリーが持つリンク情報（例：Product / Part）を自動で認識しアセンブリーを編集する際、関連するパーツファイルをまとめてロックしたり、流用設計時の関連パーツのコピー漏れを防ぐなど、3Dモデルのリンク情報を安全に管理する機能をご提供しています。また、流用コピーの機能を使えば、関連するファイルのリンク情報も更新してコピーし、さらにファイル名の一括変更も可能です。

リンク管理

3Dモデルのリンク情報を自動で認識し、各種操作の際には関連するファイルをまとめて扱うことが可能です。3Dモデルのリンクを安全に管理できます。



対応3D CAD：CATIA V5、SOLIDWORKS

DXF/DWG インターフェース

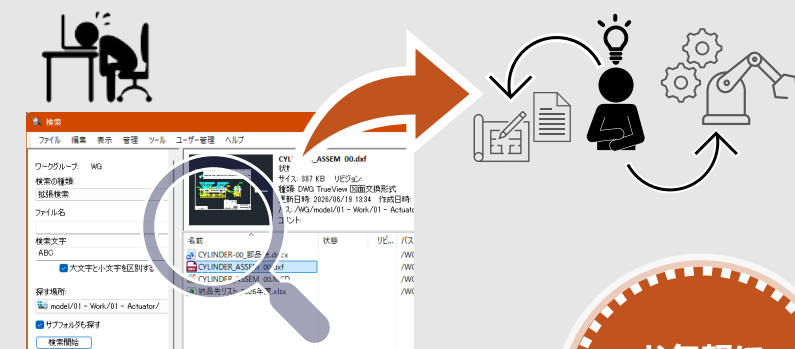
TAKUMI⁺ では、DXF/DWGファイル管理にも対応しています。

異なるCAD間で利用されるDXFファイルも含めて一元管理できるため、これまで分散しがちだった図面データ管理を大幅に効率化、さらに「どこにあるかわからない」「どれが最新かわからない」といった現場の課題を根本から解消します。

DXF/DWGファイルの全文検索機能により、異なるCAD環境にまたがる図面データも横断的に検索可能！図面を「探す」作業から「活用する」へとシフトできます。

DXF/DWGデータ全文検索機能

DXF/DWGデータ内の文字情報、属性内の情報を全文検索可能。



お気軽に
ご相談
ください

貴社ご要件に沿った追加カスタマイズ

TAKUMI⁺ は、標準機能、オプション機能以外にもお客様のご要望に沿った追加カスタマイズが可能です。本当に必要な機能のみカスタマイズで加えることによって「貴社設計業務プロセスにマッチした設計環境」を実現します。

